

No.	1240-010	事務事業名	青少年少女県外交流事業(植木町)				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	02	153025	青少年健全育成		
							社会教育法第20条 22条	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
熊本県植木町との交流学习。隔年で受入・派遣交流を行っている。昨年度は、霧島市で受け入れた。今年度は、当市内での活動で、2泊3日で小学4～6年生20名を対象に体験活動やキャンプ等を行う予定。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 61年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
植木町訪問、企業見学、田原坂見学と献花、遺跡発掘作業体験		ア	実施回数
		イ	
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
乗馬体験、海水浴、野外炊飯、星空観察、キャンプファイヤー等		名称	
		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	小学4～6年生
市内小学4～6年生		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
他県(熊本県植木町)との交流を深めることで、それぞれの市町の特徴を理解し、それぞれのよさを認識できる。		名称	
		単位	
		ア	参加者数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
青少年の健全育成及び他の地域との交流		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童・生徒の満足度
		イ	
		ウ	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			60			
		一般財源	千円	454	230	296	411		
	事業費計(A)	千円	454	230	356	411			
活動指標		ア	回	1	1	1	1		
		イ							
		ウ							
対象指標		ア	人	1,127	4,109	4,013	4,103		
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	人	24	20	21	20		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	%	未把握	90	90	90		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和61年、旧隼人町と熊本県植木町との間で青少年を対象とした交流が開始。昭和63年に正式に「青少年交流の町盟約」を交わす。ホームステイや体験活動等を通して交流をしている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
19年度以降、対象者を隼人地区から霧島市全体の小学4～6年生に変更。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	青少年少女県外交流事業(植木町)	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 他県の児童との交流活動を通して、次代を担う健全な青少年の育成につながっており、結果につながっている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 他県の児童・生徒との交流と各種体験活動は、次代を担う青少年にとって有意義なものである。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 熊本県植木町と協議の上、現在の定員20名が適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 参加前と比較して、参加者の成長を確認できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 対象者の他県での活動の場なくなる。ただし、植木町は熊本市との合併を控えており、合併後の本事業の取り扱いの一部不透明である。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似の事業がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在でも、地域住民や他の行政機関の協力を頂いており、これ以上の削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) これまで事前研修・事後研修を行い、植木町及び当市の概況について参加者の理解を深めてきたが、その内容を精査し、早めに集合させることで事前研修を省くなどして業務時間を削減することが可能。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 対象者全員に、案内チラシを配布し、安全性や物理的な問題を考慮し、最大の希望者を受け入れている。また、受益者からは保険料や食費等の負担金を徴収している。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまでの事業を継続しながら、事前研修・事後研修の準備及び実施を省略することで、職員の延べ業務時間を削減し、効率性を向上させる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 本市のみで成立する事業ではなく、あくまで青少年交流の盟約を締結した熊本県植木町の意向も尊重する必要がある。
 なお、相手町は熊本市との合併について調整を続けており、その動向について注視する必要がある。

No.	1240-020	事務事業名	日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団育成指導事業			所属部	教育部
						所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあまちづくり			課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成			所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり			電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
青少年の国際友愛精神の増進を図り、健全育成に資することを目的とする日本ボーイスカウト連盟の始良第二団に運営費補助として補助金を交付している。 <日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団の主な活動> 毎月2回程度、年間をとって野営に必要なテント設営、ロープワーク等の訓練の他に募金や、清掃などの奉仕活動を行っている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア	年間の活動回数
事務事業の概要と同じ			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団の団員		名称	
<補助金の交付先> 日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団		ア	団員数
<補助対象活動> 日本ボーイスカウト始良第2団の運営に要する経費		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団が健全に運営される		名称	
・団員が健全に育成される		ア	自主財源率
		イ	健全に育成された団員数
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる		名称	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	15	15	15		
		事業費計(A)	千円	0	15	15	15		
活動指標		ア	回		1	1	1		
対象指標		ア	人		5	5	5		
成果指標		ア	%		14	14	14		
		イ	人		5	5	5		
上位成果指標		ア	%		90	90	90		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団からの要望による。開始時期は合併前旧隼人町で平成10年頃。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
スポーツ少年団活動や塾、その他習い事等をしている子どもたちが増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団からの支援継続の要望がある。	

事務事業名	日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二 団育成指導事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	補助金のほとんどが上部組織への登録料である現状から考えると、補助金の効果が出ているとはいえない。																								
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

事務事業名	夏休み・冬休み自然体験開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 次世代を担う子どもたちに、自然の大切さ、偉大さ、共同生活のルールを学ばせ、異年齢間の交流を図らせる			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 都市化が進む霧島市では、普段の遊びの中で自然と触れ合う機会が減少しており、教育の中で自然体験をする場を提供することが子どもたちの健全な育成にとって重要である			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 募集人員を拡大することにより、さらに多くの青少年の健全育成を図れる			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 参加可能人員を増やすことで、さらに多くの青少年の健全育成を図れる。参加人数が限られてしまい、広く体験機会を作ることができない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 自然豊かな霧島市で育って良かったと思う若者が減少し、霧島市に対する愛着が薄れる			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 県立の研修施設等が行なう自然体験事業があるが、現地集合であり、交通手段を持たない子ども達は保護者の協力がなければ参加できない。			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は研修施設に必要な経費であり、削減した場合、より多くの受益者負担を求めることになり、子どもたちの参加に影響が出る			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 多くの子どもたちを安全に引率するための最小の人員で対応している。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 募集は市内小中学校を介して全ての対象児童・生徒にチラシを配布している。また、受益者からは宿泊代・食事代等の参加費を徴収しており、相応の受益者負担を求めている			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	より多くの児童生徒が参加できるよう、安全の確保に留意しながらプログラムの改善を図っていく。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ・多くの児童生徒が参加できるプログラムの編成 ・広報、周知活動の徹底																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・安全性の確保

No.	1240-040	事務事業名	市PTA育成指導事業				所 属 部	教育部
							所 属 課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課 長 名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電 話 番 号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市内各小中高等学校PTAの連絡連携とPTA活動の振興発展を図るため、霧島市PTA連絡協議会の運営に要する経費を補助する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
霧島市PTA連絡協議会に補助金を交付する。役員会等に出席し、指導助言を行う。霧島市PTA活動研究大会を教育委員会共催で開催する。		ア	補助金の額
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
霧島市PTA連絡協議会に補助金を交付する。役員会等に出席し、指導助言を行う。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
PTA会員		名称	
		単位	
		ア	PTA会員数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
研修会等を開催し、教育効果の向上と学校と家庭の連携を図る。		名称	
		単位	
		ア	研修会等への参加者数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
児童生徒の教育環境の向上を図る		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,613	1,909	1,208	1,242		
		事業費計(A)	千円	1,613	1,909	1,208	1,242		
活動指標	ア	千円	1613	1,909	1,208	1,241			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	13,758	14,305	14,414	14,000			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	未把握	未把握	未把握	7,000			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	90	90	90			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
各学校PTA間の連携を図るため	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併により、旧1市6町のPTA連絡協議会が一本化され、平成18年度に霧島市PTA連絡協議会として発足した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に無し	

事務事業名	市PTA育成指導事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	PTAへの補助金であり、現状を維持する。活動の内容等については、社会教育関係団体への指導助言をして今後も継続していく。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<改革改善案> 今まで以上にPTA活動の果たす役割は大きくなるが、補助金の増額は困難である。今後も必要に応じて指導助言をし、支援していく。																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

事務事業名	市子ども会育成連絡協議会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市子ども会育成連絡協議会の活動を支援する事で、次世代を担う青少年の健全育成を図る。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘		
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	霧島市子ども会育成連絡協議会の活動を支援する事で、子どもの体験と学びを支援する環境を作る事ができる。				
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘			
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	霧島市内子ども会を対象としている。				
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘		
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	子ども会主催で各種事業が実施されている。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘		
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	子どもや保護者、地域住民同士のつながりが薄くなり、子どもの育成環境に影響がある。				
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業)				
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘	<input type="checkbox"/> 連携できない ↘	
子ども会育成事業であり、他に手段がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘		
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	霧島市子ども会育成連絡協議会の事業で、市として削減余地はない。			
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘			
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	事務局が教育委員会内にあり、担当職員が大半の仕事を行ってきたが、今後も引き続き支援内容を精選する必要がある。				
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘		
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	霧島市子ども会育成連絡協議会は、単位子ども会育成会の集まりであり、市内全ての子ども会が対象である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1240-060	事務事業名	市連合青年団運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	学習環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 1	152090	その他社会教育総務費	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 青年団の活性化を図り、様々な研修活動や地域活動を通して、青年の自己啓発やすやかな郷土づくりを進めるため、霧島市連合青年団の運営に要する経費を補助する。		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)
--	--	---

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市連合青年団に補助金を交付し、活動に対して指導助言を行なう。		活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 補助金の額</td><td>円</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 補助金の額	円	イ		ウ	
名称	単位									
ア 補助金の額	円									
イ										
ウ										
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 平成19年度と同じ		⇒								
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 青年団員		⇒								
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 研修活動や地域活動を通して、郷土を思う心と実践力を培う。		⇒								
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域に合わせた活動を行なう環境が整う。		⇒								
対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 青年団員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 青年団員数	人	イ		ウ		
名称	単位									
ア 青年団員数	人									
イ										
ウ										
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 地域活動に参加した団員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 地域活動に参加した団員数	人	イ		ウ		
名称	単位									
ア 地域活動に参加した団員数	人									
イ										
ウ										
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%	イ		ウ		
名称	単位									
ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%									
イ										
ウ										

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,037	705	670	603		
		事業費計(A)	千円	1,037	705	670	603		
活動指標		ア 円	1,037	705	670	603			
対象指標		ア 人	60	75	55	55			
成果指標		ア 人	57	70	50	50			
上位成果指標		ア %	未把握	90	90	90			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 社会教育法の制定後、各社会教育団体の育成・指導助言が強く求められるようになった	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により、旧1市6町の青年団が一本化され、平成18年4月1日に霧島市連合青年団として発足した	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	市連合青年団運営支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島市に居住する青年が郷土を思う心で活力あるふるさと霧島を創造していく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 高齢化が進む現代において、青年が地元を離れていく傾向にある中で、地域のリーダーを育てることが必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 青年団の育成指導に限られている。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 地域で社会活動を行なっている青年が活躍できるような場を提供する。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 過疎化が進む霧島市において、青年の地域活動の活性化が求められている。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 青年団は急激な団員増加が見込めず、自主財源獲得が容易ではないため、削減の余地は無い。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 現在も最低限の人件費で運営している。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内全域の青年を対象にしているため公平公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1240-070	事務事業名	青少年海外派遣事業				所属部	教育部	
							所属課	生涯学習課	
			政策名	04	育み磨きあるまちづくり			課長名	山下 修
			施策名	02	青少年の健全育成			所属G(係)	生涯学習G
政策体系	基本事業名		01	体験と学びを支援する環境づくり			電話番号	42-1118	
	予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
		一般	10	06	02	153025	青少年健全育成事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
青少年が異言語下の家庭で生活しながら、異文化と自文化を考え国際感覚を育成する。青少年を開発途上国に派遣し、青年海外協力隊の活動を体感し、国際性豊かな青少年を育成する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 19 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
アメリカ合衆国 参加者 14名・ラオス 1名		ア	参加者
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
アメリカ合衆国 参加者 14名・ラオス 2名		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内在住の中高生の参加申込者		名称	
		単位	
		ア	参加申込者
			人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
青少年が異文化と自文化を考え体験することにより、国際性豊かな青少年を育成する。		名称	
		単位	
		ア	参加者
			%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
本旨の国際交流に寄与する。 青少年の生きる力(技術・知識・文化等)を得る。		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		2,142	3,561	3,150		
		事業費計(A)	千円	0	2,142	3,561	3,150		
活動指標		ア	人	10	15	0			
対象指標		ア	人	10	19	20			
成果指標		ア	%	100	100	100			
上位成果指標		ア	%	90	90	90			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
青少年が異文化と自文化を考え体験することにより、国際性豊かな青少年を育成する。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
本旨の国際交流に寄与する。 青少年の生きる力(技術・知識・文化等)を得る事業として参加者はもとより参加希望の本人・保護者からの継続希望がある。	

事務事業名	青少年海外派遣事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年が国際感覚を身に付けることは、国際性豊かな青少年を育成することに非常に有効である。効率、公平性を図るための検討が必要。																						
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 上記2 - に記述したように、関係課と協議しながら、各関係国際交流協会へ要望している。																								

No.	1240-090	事務事業名	青少年地域体験活動開催事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習グループ
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 2	153025	青少年健全育成事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市内の小学3年生から中学生を対象に、7つの地区(旧市町)の特色ある自然環境や伝統文化を体験してもらう事業。各地区で行われる体験活動毎に募集を行っている。 ・実施時期 毎年5月～3月 ・参加費 活動に応じて実費負担 保護者が送迎できない子どもも参加できるようにするため、市内全地区に送迎バスを運行している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 19 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)		名称		
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位		
溝辺～版画・歴史探訪、国分～第一工業大学での実験、横川～山ヶ野金山めぐり、霧島～霧島神楽体験、牧園～みやまコンセールでのコンサート、霧島連山登山、福山～福山醸造所見学、隼人～初午祭参加		ア	参加者数(延べ人数)	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	参加者数(実人数)	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ		
市内の小学3年生～中学生		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称		
青少年地域体験活動に参加してもらう		単位		
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ア	小学3～6年生,中学生	人
霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる		イ		
		ウ		
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称		
		単位		
		ア	有意義と感じた参加者の割合	%
		イ		
		ウ		
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		
		名称		
		単位		
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%
		イ		
		ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		172	339	845	
		事業費計(A)	千円	0	172	339	845	
活動指標	ア	人		247	451	590		
	イ	人		237	354	472		
	ウ							
対象指標	ア	人	9,480	9,500	9,471			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	未把握	433	560			
	イ			4.7	6			
	ウ							
上位成果指標	ア	%	90	90	90			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年の合併を期に、各地区の特色ある自然環境や伝統文化を体験してもらい郷土愛を高めようと開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
参加した児童生徒からは、霧島市の自然や文化の素晴らしさを再認識したとの声が寄せられている。	

事務事業名	青少年地域体験活動開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	青少年地域体験活動に参加してもらうことで、霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができることにつながる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	青少年育成事業を行うことは行政の役割であり妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	原則として児童生徒のみの参加としていることから小学校3年生以上を対象とした。
成果の向上 余地	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	行政で行う旧市町の自然や伝統文化を体験できる機会が失われる。
類似事業との 統廃合・連携の 可能性	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	霧島市内全地区で定期的に体験できる事業は他には無い	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
事業費の削減 余地	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	講師謝金や消耗品、参加者の送迎に必要なバス代等必要最低限な経費であり削減できない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
効率性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	職員は事前の準備や当日の運営、引率を行っており、参加者の安全を期すために最低限必要な人員で対応しており、削減の余地はない。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加者には事業に応じて受益者負担をいただいている。 また、市内全地区を回る送迎バスを運行し、保護者が送迎できない子どもも参加できるように配慮している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	魅力的な事業を展開することにより、より多くの参加者が見込める。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持低下																	
<改革改善案> 地区外の子供達も興味を持って、積極的に参加できる場所やイベントを精選する。																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 地区ごとの偏りを緩和するために、参加者の志向や地域の特性をリサーチする。

政策体系	政策名	04	育み磨きあつまちづくり	所属部	教育部				
	施策名	02	青少年の健全育成		所属課	生涯学習課			
	基本事業名	01	体験と学びを支援する環境づくり		課長名	山下 修			
				所属G(係)	生涯学習G				
				電話番号	42-1118				
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令	特になし
		一般	10	06	02	153015	青少年健全育成事業	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間			
メディア等の発達により、共通語が日常語となり、方言が使われなくなりました。方言を知ることは、古くからの暮らしを伝承し、未来に繋いでいくことであり、生活の中で必要である。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 19 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
小学4年生~中学3年生を対象としたに方言による標語コンテストを実施する		ア	申込者数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
19年度と同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
小学4年生~中学3年生		名称	
		単位	
		ア	小学4年生~中学3年生
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
方言を使い標語をつくることにより、親、祖父母、近隣の高齢者から知恵や昔の生活や環境を知ることができる。また、家族等の連帯も深まる。		名称	
		単位	
		ア	申込者とその保護者等
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
青少年が学校・地域・家庭に興味や関心を持ち、社会を見つめる機会となる		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		278	191	248	
	事業費計(A)	千円	0	278	191	248		
活動指標	ア	人		1,265	600	1,000		
		イ						
		ウ						
		ウ						
対象指標	ア	人		8,178	8,094	8,078		
		イ						
		ウ						
成果指標	ア	人		未把握	1,740	2,900		
		イ						
		ウ						
上位成果指標	ア	%		90	90	90		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市長マニフェストによる。平成19年度開始	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学校での取組みも積極的なことから継続の要望がある。	

事務事業名	青少年方言標語コンテスト開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 鹿児島弁を理解し、まちづくり(コミュニティ)に参加してもらう	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 地域の文化としての鹿児島弁を絶やさないよう、日頃の生活でも活用するためのきっかけとする。	
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? コンテスト形式では、鹿児島弁を使うことの少ない若年層には困難である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 作品応募でなく、鹿児島弁講座的なものを実施できないか。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 日頃活用の機会が少なくなり、鹿児島弁が理解できなくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 優秀作品の表彰に使う報償費を講師謝金等に充てて学習会に変更する。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) コンテストに係る業務時間と、学習会としたときと比較した場合、同等の業務時間で、成果向上が期待できる。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内各学校をとおして、公募としている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	鹿児島弁の継承は大切なことなので、もう少し有効な手段を用いて継続する。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 日頃、鹿児島弁を使うことの少ない若年層や、県外からの転入者にも理解できるようにする。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 県外からの転入者にも、鹿児島弁への関心を持ってもらい、理解してもらうために学習の機会を設ける。																						

No.	1240-110	事務事業名	日韓親善子供大使友好の翼実行委員会活動支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1118
予算科目	会計	一般	100602	153025	事業名	社会教育法第5条第1項第12号(青少年への体験活動の実施)		
	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 同法第11条第2項(社会教育団体への援助)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

日韓親善子供大使友好の翼実行委員会に補助金を交付し、当実行委員会が行う韓国への派遣事業の活動を支援している。(市の活動)日韓親善子供大使友好の翼実行委員会に運営するための手続き等(運営、申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。(実行委員会の活動)韓国語研修会、韓国釜山市ペーヨン初等学校への派遣、同校児童並びに引率の受け入れ活動、霧島市溝辺地区小学校での学校交流活動
 *日韓親善子供大使友好の翼実行委員会とは、青少年の健全育成のための国際理解の推進を目的として設立した団体。教育委員会溝辺出張所を事務局として、溝辺地区の小学校、PTA、子供大使保護者、みぞべ西郷どん交流館、培英初等学校と交流する会を会員として運営している団体である。

事業期間

単年度のみ
 単年度繰返 (H 3年度~)
 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 12月25日から27日に、子供大使12名、引率6名の合計18名が訪問し、1月30日から2月2日に、韓国児童13名、引率7名の合計20名が来日された。両日程とも、2日目に学校交流会を開催した。		ア	補助した団体の活動数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 子供大使募集を霧島市内全域として、国際交流を行う。 訪問 8月24日~27日、受入1月28日~31日		イ	補助した団体活動の活動規模(子供大使参加者)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市小学5,6年生 <補助金交付先>日韓親善子供大使友好の翼実行委員会 <補助対象活動>日韓親善子供大使友好の翼実行委員会の運営に要する経費 実行委員会運営費、研修会、派遣事業、受入事業		ウ	補助した団体活動の活動規模(交流に要した日数)
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 日本、霧島の良さについて、再認識するとともに、隣国韓国について理解を深める。 日本と韓国の文化自然習慣等を比較し、他の国を理解受容できる国際感覚を身につける。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる。 国際感覚豊かな次代を担う人材の育成。 霧島市の事業等に積極的に参画する社会貢献できる人材の育成。		名称	
		ア	参加希望者数
		イ	参加決定者数
		ウ	霧島市小学5,6年生数
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	事業の満足度
		イ	国際理解が身に付いたと感じる割合
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	体験プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円			
		国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	1,917	1,295	1,110	1,800
	事業費計(A)	千円	1,917	1,295	1,110	1,800
活動指標	ア	事業	3	3	3	3
	イ	人	11	8	12	12
	ウ	日	11	15	15	15
対象指標	ア	人	11	8	12	12
	イ	人	11	8	12	12
	ウ	人	197	171	2,747	2,758
成果指標	ア	%	100	100	100	100
	イ	%	100	100	100	100
	ウ					
上位成果指標	ア	%		90	90	90
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成3年に旧溝辺町にて陵南小学校が、国際空港が近くにある大韓民国釜山広域市培英初等学校との間で、絵画交流を行なったことがきっかけとなり、平成4年には子供大使3名を、溝辺町教育長をはじめとした訪問団が、培英初等学校を訪問した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 国際理解能力を身につける国際交流が重要視され、隣国の大韓民国との交流は特に重要なものとされている。行政間の交流よりも民間の交流活動を重視する動きがある。合併後は、教育長や企画部長も日本での交流に参加し、また、実施主体を西郷どん交流館等民間団体に移行する動きもある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 旧溝辺町のみでの交流なので、市民にはまだ認識不足と思われる。H18年度は霧島市広報誌に陵南小学校の取り組みとして掲載されたが、反応は余りなかった。溝辺地区の住民の中では、補助金を使い、これまでと同じように溝辺地区の小学5,6年生を対象にしてほしいという意見があるが、他の事業と同様に参加対象者を市へと広げる等改善を図ることも求められている。

事務事業名	日韓親善子供大使友好の翼実行委員会 活動支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	事業の目的は、青少年の健全育成を目指すものであり、また、国際理解を深めることで、他国から見た自分を知り、アイデンティティを確立することを支援する体験活動となっているので、結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	青少年健全育成として、早い段階で国際感覚を身に付けることは重要なので、この事業を支援することは、社会教育としてその責務が教育委員会にはある。
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	青少年に早い段階で国際感覚を身に付けることは重要であり、発達段階的にコミュニケーション能力や国際理解能力を有する小学5,6年生を対象とするは妥当である。が、霧島市補助金を使用し、実行委員会体制とはいえず、実質教育委員会の事業であるので、募集対象を霧島市の小学5,6年生とすべきである。
効果 率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	霧島市内小学5,6年生を対象とし、更に成果を広げることができる。国分公民館の韓国語講座講師や霧島市に在住の韓国語を教えられる方などを活用し、事前研修を多くしたが、さらに国際感覚を向上させるために、韓国の公共施設見学や、国際交流支援機構などに訪問する等の韓国現地での計画を見直し、また、本市においても国際交流協会との連携によって、成果を向上させることが出来る。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	補助金を廃止・休止すると、派遣交流事業を廃止することになり、原点に戻り、絵画作品交流等をPTA、学校などで行なうことも可能であるが、一度交流が後退することになり、再度相互訪問は難しくなると考える。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 国際交流協会支援事業との統合または連帯 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	霧島市全域に広げることで、国際交流協会と連帯できる。また、溝辺地区の国際交流支援団体にこの事業を行う力量はないので、霧島市国際交流協会が韓国との交流を検討していれば、協力をいただき、さらに成果を向上させたい。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	交流相手方との折衝によって、費用についても同等とさせていただいた。また、3回の夕食交流会も費用は1回とした。今後は、国際交流協会では会費収入等の自主財源をもっているため、実行委員会も自主財源を持つ等の指導ができる。
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	実行委員会組織に韓国語を理解できる方が入っていたら、業務時間や謝金等の削減ができる。また、国際交流協会に事業が移管されれば、人的物資的資本が一本化され、効率化され効率があがる。教育委員会は青少年健全育成という目的に沿って事業が行われているかをチェックすることで、事業の水準は維持・向上できる。
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平 性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	受益者が、溝辺地区小学5,6年生に限定されており、偏っている。また、補助率も大きい。平成18年度から協議を重ね、平成20年度から見直される。費用負担についても、平成20年度から見直される。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年健全育成事業として、溝辺地区小学5,6年生ならびに溝辺小学校児童に、国際理解を深めることができた。交流相手方の意向により訪問児童を溝辺地区に限定していたが、平成20年度から募集の対象を全市へ広げることができた。また、費用についても改善できた。今後は、関係団体と連携して民間交流として活性化させる課題がある。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 平成20年度から、子供大使参加者は霧島市内小学5,6年生を対象とし、費用については交流相手方と同等にする。交流相手方は釜山広域市からの補助がないが、霧島市の民間交流としては、補助金がないと派遣はできないので、今後は、この交流きっかけとなったみぞべ西郷どん交流館(霧島市国際交流協会加盟団体)が主体となって、事業を運営し、教育委員会は下支えをし、民間交流を展開していただく。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 みぞべ西郷どん交流館が、この事業に主体性を持ち、運営していく意向があるか確認し、当面、霧島市教育委員会としては、この事業運営の支援を行う。全市を対象を広げるので、窓口は本庁とし、溝辺出張所が支援する。																	

事務事業名	わんぱく！きりしまっ子冒険塾事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市内全域から集まった参加者が、異年齢での活動を通して、次代を担う健全な青少年を育成を図る。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 他校の児童・生徒との交流と体験は、次代を担う青少年の育成は、市の役割である。			
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 現在小学4～高校生を対象としているが、参加申込者が非常に多く、施設の定員や安全性から、再考する必要がある。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 参加者の意識の向上が確認できている。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 対象者の他校及び異年齢での活動の場がなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 他に類似の事業がない。			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在でも、地域住民や他の行政機関の協力を頂いており、これ以上の削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 休日を活用する事業であり、削減できない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 対象者全員に、案内チラシを配布し、参加希望者は全員受け入れている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	徐々に応募者も多くなり周知されてきた事業である。プログラムの内容により学年制限を再考して行く必要がある。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 改革改善案 参加対象の学年を、プログラム内容により幅を持たせる。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	参加者の安全性の確保
----------------------------------	------------

No.	1240-130	事務事業名	校外生活指導連絡会支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 2	青少年の非行防止のための環境づくり				電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1	0	0	6	0		1

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市校外生活指導連絡会の運営補助として補助金を交付している。連絡会の活動～児童生徒の健全な育成を図るため、霧島市PTA連絡協議会、霧島市子ども会育成連絡協議会、および、霧島市生活指導研究協議会が協力提携し、校外における生活指導を充実する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
校外生活指導連絡会総会の開催、地区別校外生活指導連絡会の開催(3回)		ア	連絡会の開催
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
20年度に同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
校外生活指導連絡会構成員		名称	
		単位	
		ア	校外生活指導連絡会の構成員数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・校外生活指導連絡会運営の健全化を図る。		名称	
・校外における生活指導を充実する。		単位	
		ア	自主財源率
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
青少年の健全育成		名称	
		単位	
		ア	青少年が社会のルールを守っていると考える市民の割合
		イ	青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	409	369	350	315		
		事業費計(A)	千円	409	369	350	315		
活動指標		ア 回	5	5	5	5			
対象指標		ア 人	18	18	18	18			
成果指標		ア %	49	52	54	55			
上位成果指標		ア %	28.1	12.3	15.6	34.0			
		イ %	16.6	22.0	24.6	24.0			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年の市町村合併により霧島市として「校外生活指導連絡会」の組織を整備した。17年度は旧自治体の組織で暫定的に活動し、平成18年度より、各種団体が霧島市に一本化されたのを受け、「霧島市校外生活指導連絡会」として発足した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
市町合併に伴い、新市の校外における青少年健全育成のための組織として、情報・意見交換等に役立っている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
児童生徒の商店等への出入りを明確化してほしい。	

事務事業名	校外生活指導連絡会支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 運営費を助成することで、基本事業の意図である「青少年の健全育成」に結び付く。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 青少年の健全育成は行政の役割であり、補助金を支出することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 青少年が健全に育成されるために補助するものであり、対象意図とも妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 目的を一にする団体が構成され、青少年の健全育成に適切な活動をしている。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 支出の96%が補導時の謝礼と校区活動費であり、補助がなくなれば活動の維持が困難になる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似する団体はない。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 支出の96%が補導時の謝礼と校区活動費である。収入の54%が市の補助であるが、その他構成団体のひとつである市P連も出資している。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 職員は補助金の申請受付及び交付、実績報告に係る事務が主であり、必要最低限の事務であることから削減の余地は無い。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 「青少年健全育成」は、全市民の願いである。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																										
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	年3回の全体会をとおりて、会員間での情報交換、共有がなされ、適正に活動している。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																							
<改革改善案>			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	1240-140	事務事業名	青少年育成センター運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習グループ
	基本事業名	02	青少年の非行防止のための環境づくり				電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	10	06	01	153025	青少年健全育成事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間		
青少年育成センターは、日常の街頭指導活動や青少年の相談電話等の青少年に直接接する活動と、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動等の間接的な活動があり、青少年健全育成の気運を高めていくことを目的としている。 補導員 国分地区5名, 単人地区3名, 8名 補導委員 学校籍64名, 地区有識者20名, 計84名						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度~ 年度)		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 定期街頭補導活動~補導員, 補導委員, 育成センター指導員が月に2~3回, 6つのコースを巡回指導した。 巡回指導~育成センター指導員が区内を巡回 相談活動~育成センター相談員による相談活動 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 定期街頭補導活動, 巡回指導, 相談活動 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 青少年 青少年の健全育成に悪影響を及ぼす可能性のある商品を陳列している店舗 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 街頭補導による青少年の初発型非行の防止や環境浄化 結果(どんな結果に結び付けるのか) 社会のルールを身につけ、守る 非行をさせない環境をつくる		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 定期補導回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 巡回指導回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 相談回数</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 青少年数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 悪影響店舗数</td> <td>軒</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 指導を受けた未成年者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 青少年が社会のルールを守っていると考える市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 定期補導回数	回	イ 巡回指導回数	回	ウ 相談回数	回	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 青少年数	人	イ 悪影響店舗数	軒	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 指導を受けた未成年者数	人	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 青少年が社会のルールを守っていると考える市民の割合	%	イ 青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合	%	ウ	
名称	単位																																								
ア 定期補導回数	回																																								
イ 巡回指導回数	回																																								
ウ 相談回数	回																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 青少年数	人																																								
イ 悪影響店舗数	軒																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 指導を受けた未成年者数	人																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 青少年が社会のルールを守っていると考える市民の割合	%																																								
イ 青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合	%																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,089	8,418	6,785	7,352	
		事業費計(A)	千円	7,089	8,418	6,785	7,352	
活動指標		ア 回	75	63	295	250		
		イ 回	56	80	137	130		
		ウ 回	119	201	174	150		
対象指標		ア 人	17,134	16,903	18,441	16,695		
		イ 軒	133	133	111	111		
		ウ						
成果指標		ア 人	213	150	157	120		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	28.1	12.3	15.6	34.0		
		イ %	16.6	22.0	24.6	24.0		
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 特になし	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	青少年育成センター運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 青少年の非行防止のための環境づくりにおおいに寄与している。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 街頭補導や巡回指導、相談活動等、行政対応の事業と考えられる。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 教育的な配慮から考慮すれば、対象は現行で適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 商店等、青少年を対象とした民間事業者積極的に協力してもらうことで成果向上の余地があると考えられる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 青少年の健全育成に携わるセンターが他になく、行政として青少年育成に直接関わる部署が存在しなくなる。そのため、情報の収集、関係機関・部署との連携が図れなくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			他に類似事業が見当たらない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現状以上の成果を望むためには、削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 正職員以外の職員に委託しており、現在より削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市内の青少年全員に係る事業であり、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	積極的な広報・周知を図り、年々相談事業など増加の傾向にある。また、青少年の健全育成におおいに寄与していると考えられる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 関係の民間企業等にセンターの活動を周知させる。																					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・指導員、相談員の資質の向上。

事務事業名	国分公民館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																								
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	公民館講座の開設や自主講座、研修会の支援をすることにより、幅広い学習のきっかけが得られ、結果として自身のテーマに沿った学習機会が得られるに結びついている。																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																								
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市民が学習のきっかけが得られるように学習の場を提供することは、市の事業として必要である。																									
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																									
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	公民館の役割として、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、住民の教養の向上、健康増進など生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する目的をもっており妥当である。																									
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																								
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	講座内容への満足度に関しては、19年度よりアンケートによる把握を開始したが、講座によってバラツキがある状況にあると思われる。講座の内容や講師によってその差が生じている可能性が高い。多種多様な学習機会の提供による市民の学習活動の活発化																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																								
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市民交流や学習機会の減少し、市民の学習意欲の低下につながる																									
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																									
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	公民館定期講座について既に、他地区公民館と連携して実施しているが、公民館及び多目的ホールの運営は、しみん学習支援公社にて委託していることから統一した運営は難しいのではないが。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																									
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	講座の市内講師活用と施設管理(公民館・多目的ホール)委託の検討																								
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																									
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど)	公民館の維持管理については、しみん学習支援公社に委託している。講座等の企画運営については、生涯学習指導員が中心となって事業を推進しているので全てをしみん学習支援公社に委託するのが検討が必要となる。																									
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																								
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	市内全域でどこでもだれでも講座は受講できる体制をとっているため受益機会は公平・公正である。受益者負担額は、全講座共通の受講料に加え、講座内容によって異なる実費負担となっており、公平性は保たれている。施設利用についても条例により、使用許可及び使用料を定めている。																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民のニーズを的確に捉えながら社会情勢を考慮し、講座のねらいを明確にする。講座の内容や手段を工夫し、効率性の確保と共に効果の向上を検討する。施設利用については年末年始だけの休館とし、夜間利用も午後9時まで使用できているので勤労者にとっても使いやすい施設となっている。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通り)で特に改革改善をしない <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<改革改善案> 特色を活かした講座の開設をするために、人材の発掘や地域に眠っている資源の活用をなど、地域のよさを肌で感じ、ふれあい、地域に根ざした学習環境等を整え、市民一人一人が気軽に公民館講座を利用いただけるような方策を検討していく。 重複する講座や満足度の低い講座に関しては、ニーズの高い新講座へと入れ替えを進める。 市民にとって使いやすい施設とするため、ホームページ等での紹介や予約の手続きなど簡単にできる手法を検討する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下					
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										
市民のニーズは常に変化するためニーズを把握することが課題である。そのためのアンケートの実施を始めている。事業改善計画などを作成し、公民館関係職員研修会等で今後も継続協議をしながら検討していく予定。 国分公民館のホームページ更新や予約手続きなど方法を検討していく予定。																										

事務事業名	各地区公民館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設利用については休館日、利用時間など誰でもが使いやすい施設として考慮する必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 公民館のホームページ更新や予約手続きなど方法を検討する予定。																						

No.	1240-240	事務事業名	市生活学校育成指導事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	学習環境づくり				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	01	152090	その他社会教育総務費	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
従来の特色を生かしながら生活改善に努める生活学校運動が円滑に運営できるように、一人ひとりが自覚し、生活課題を明確に捉え、協力して運動を展開できるよう、霧島市生活学校の運営に要する経費を補助する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市生活学校に補助金を交付する。また、指導助言を行う。		ア	補助金の額
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島市生活学校に補助金を交付する。また、指導助言を行う。		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島市生活学校に補助金を交付する。また、指導助言を行う。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内の生活学校会員		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	会員数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 環境問題や高齢・福祉問題に関心をもち、生活改善に努め、解決を図る。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	環境問題に興味のある人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 高齢化社会や環境問題への意識が高まる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	130	127	110	99		
	事業費計(A)	千円	130	127	110	99			
			0	0	0	0			
			130	127	110	99			
活動指標	ア	人	130	127	110	99			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	55	55	57	62			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	未把握	未把握	未把握				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	29.4	26.4	31.2	31			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 国のコミュニティづくり推進事業による事業	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 環境問題や高齢・福祉問題がより深刻になっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 継続の要望が高い。	

事務事業名	市生活学校育成指導事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 自らの生活課題を自ら掘り起こし、その課題解決に向けて学習・実践していくという活動は、生涯学習の姿そのものであり、社会的なムーブメントの先鞭をつけたものも多く見られ、結果に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 社会教育団体として長期にわたり活動をしているが、ほぼすべて会員の会費のみで運営されており、活動内容の充実ぶりに反し会計基盤が脆弱なため、補助金を交付して活動を下支えする必要がある。			
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象である会員には、若い世代の加入が少ない。また意図である様々な生活課題は、時代背景の変化によって自ずと変化していくものであり、活発な活動の中で新たに掘り起こされる課題を積極的に意図に組み込む必要がある。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 昨今の風潮を受けてマイバッグの普及はかなり進んでいるが、実際の活用がなされているかという点では今一歩である。今後はレジ袋の有料化など、生活学校だけでなく行政担当部署の後押しと小売業者の協力が不可欠な状況となってきつつある。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 経済基盤が脆弱な生活学校は、組織そのものが瓦解する恐れが大きい。食の安全や環境問題など、女性の視点・主婦の視点で解決に向けて努力してきた団体がなくなると、企業や行政のあり方についてチェックする目を失うことにつながる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) ここ数年にわたって補助金は削減されており、これ以上の削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 運営について職員が関わっているのは指導・助言のみであり、これ以上業務時間の削減はできない。また、社会教育指導員あるいは社会教育主事として指導・助言しているものであり、外部委託等は適当ではない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 生活学校は霧島市全体を募集対象とした団体であり、公平・公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													

事務事業名	学習機会・情報提供事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 学習情報を提供することにより、市民の学習意欲を促がしていることに結びついている。
	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民に学習のきっかけづくりを提供する学習情報は、市の事業として必要である。
	対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?
有効性 評価	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 市内各地区の学習情報を提供することで市民に学習意欲を注いでいるが情報内容に偏りがあるので広い視野での情報提供を進めていく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響 <input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市民交流や学習機会の提供が減少し、市民の学習意欲の低下につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 <input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?
効率性 評価	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 担当職員一人が担当している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市内全域、全市民が情報を得られるように体制づくり(情報誌・ホームページ等)をし、周知している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	情報提供の手段として、情報誌及びホームページに掲載し、市民の学習意欲を高めている。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 学習情報が市民に的確に伝わり、学習意欲の向上が得られるように検討していく。情報誌においてはわかり易く、読みやすいものに、ホームページにおいては常に新しい情報が見れるような状態に更新する。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民のニーズに応えるため、情報発信伝達法としての情報誌及びホームページ作成等が中味の検討が課題である。そのためには市内全域での情報収集をアンテナを高くして進める必要がある。																						

No.	1240-300	事務事業名	市女性団体運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあつまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 5	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	学習環境づくり				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1	0	0	6	0	1	
					152090	社会教育総務費	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
様々な研修活動や社会参加活動を推進し、会員の資質向上及び活動の充実に努め、青少年の健全育成をはじめ、明るい地域社会の実現や福祉の向上などを進めるため、霧島市女性団体の運営に要する経費を補助する。5団体	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動) 国分、牧園、霧島、隼人、福山にある女性団体に補助金を交付する。各団体へ指導助言を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 補助金の額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア: 補助金の額	千円	イ		ウ	
名称	単位								
ア: 補助金の額	千円								
イ									
ウ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内の女性団体(補助金を交付している団体)	対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 市内の女性団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア: 市内の女性団体数	団体	イ		ウ	
名称	単位								
ア: 市内の女性団体数	団体								
イ									
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・各地区の女性連が活発に運営される ・会員が健全に育成される	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 社会参加活動を行っている女性団体</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア: 社会参加活動を行っている女性団体	団体	イ		ウ	
名称	単位								
ア: 社会参加活動を行っている女性団体	団体								
イ									
ウ									
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域女性連の活動が活発になり、地域が活性化する。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア: 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位								
ア: 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,220	1,393	1,322	1,190		
	事業費計(A)	千円	2,220	1,393	1,322	1,190			
	活動指標	ア 千円	2,220	1,393	1,322	1,208			
		イ							
		ウ							
	対象指標	ア 団体	6	5	5	5			
		イ							
		ウ							
	成果指標	ア 団体	未把握	未把握	未把握				
		イ							
		ウ							
	上位成果指標	ア %	29.4	26.4	31.2	31			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 社会教育法の制定後、各社会教育関係団体の育成・指導助言が強く求められるようになった。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併後、各団体の一本化が求められている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 各団体の一本化をしてほしい。公平な補助金交付をお願いしたい。

事務事業名	市女性団体運営支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																				
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	運営費を助成することで、基本事業の意図である「地域女性連の活動が活発になり、地域が活性化すること」に結び付く。																					
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	女性連を育成することは行政の役割であり、補助金を支出することは妥当である。																					
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	会員の活動を助成するために補助するものであり、対象意図とも妥当である。																					
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	女性の立場で社会貢献され、地域活性化のために適切な活動をしている。																					
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	補助を打切ると適切な活動ができない。																					
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	類似団体を統一することができる。																						
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	類似団体を統一することで削減できる。																					
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	職員は補助金の申請受付及び交付、実績報告に係る事務が主であり、必要最低限の事務であることから削減の余地は無い。																					
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	市内類似団体へ同じように補助している。																					
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		各団体においては、活発に活動されているが、今後霧島市全域の女性連としての一体感が必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																						
<改革改善案> 霧島市女性団体として、全体を統一する。			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 各団体とも長年の歴史のなかで培った思想や、手法が異なり、統一するための障害となっており、目標の統一化を行うための話し合いの場を持つ。																									

No.	1240-310	事務事業名	社会教育委員の会議運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	学習環境づくり				電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	社会教育法第5条
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
1 社会教育法第5条の社会教育の事務を完全に実施するため、霧島市社会教育委員設置条例に基づき、教育委員会が委員を15名以内で委嘱する。委員の任期は2年間。 2 霧島市社会教育委員会規則に基づき、会議を3～4回開催し、教育委員会の諮問事項に対して、委員に意見を求める。 3 始良地区や九州地区ブロックの社会教育委員の研修会に参加を求める。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
手段(主な活動)		名称		単位			
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 会議回数		回			
霧島市社会教育委員の会議(年3回) 始良地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会開催 九州ブロック社会教育研究大会に参加		イ 研修会参加数		人			
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ 支払報酬額		円			
20年度と同じ		対象指標(対象の大きさを表す指標)					
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称		単位			
社会教育委員		ア 社会教育委員数		人			
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ					
霧島市の社会教育に関し、教育委員会に指導・助言を行う。		ウ					
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
地域にあった学習を行う環境が整う。		名称		単位			
		ア					
		イ					
		ウ					
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)					
		名称		単位			
		ア 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合		%			
		イ					
		ウ					

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	414	362	267	672	
		事業費計(A)	千円	414	362	267	672	
活動指標		ア 回	3	3	3	3		
		イ 人	44	35	45	45		
		ウ 円	226,800	180,500	230,700	230,700		
対象指標		ア 人	15	15	15	15		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア						
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	29.4	26.4	31.2	31.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
社会教育法が昭和24年公布され、社会教育法第15条の規定により、合併前旧市町でそれぞれ設置	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
委員の選出区分は条例に定められていないが、合併後、旧1市6町の地区から広く意見を伺うため、各地区の公民館運営審議会委員代表1名を社会教育委員に委嘱している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
委員全員が会議に出席できるよう日程調整を図ってほしい。	

事務事業名	社会教育委員の会議運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市社会教育委員会議規則に基づき、会議を3~4回開催し、教育委員会の諮問事項に対して、意見を求めることで、「霧島市の社会教育に関し、教育委員会に指導・助言を行う」に結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	社会教育委員会を開催することは行政の役割であり、委員報酬を支出することは妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	社会教育行政に対する諮問を行うための組織であり、対象意図とも妥当である。
成果の向上 余地	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	社会教育行政の充実を図るための会議を開いたり、研修に参加している。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	社会教育委員会が開催できない。	
類似事業との 統廃合・連携の 可能性	他に手段がある(具体的な手段,事務事業)	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	類似する会合はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
事業費の削減 余地	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	委員等報酬支出規程に基づき執行している。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
職員は会議の準備や、委員等報酬の支出に関する事務が主であり、必要最低限の事務であることから削減の余地は無い。		
受益機会・費用負担の適正化 余地	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	市全域から広く意見を伺うため、旧1市6町の地区公民館運営審議会委員代表1名を社会教育委員に委嘱している。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	社会教育行政の充実を図るために、真摯に取り組んでいただいている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																						
<改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	1240-320	事務事業名	きりしまふるさと学寮	所属部	霧島出張所
				所属課	教育振興課
政策体系	政策名	0 4	育み磨き合うまちづくり	課長名	福森 茂樹
	施策名	0 2	青少年の健全育成	所属係(G)	教育グループ
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり	電話番号	57-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	根拠		
	一般	1	0	0	6	0	2	153025	青少年健全育成事業	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島地区の青少年育成団体を中心とした地域の各種団体が連携を図り、現在の子どもたちに欠けている「我慢する心」や「不自由に耐える心」「失敗に耐える体」を培うことを目的に、児童・生徒が家庭を離れ、異年齢集団で生活することにより、自立性や忍耐力、協調性、他者への思いやりの心や、自分の成長や生活を支えている親や校区の人々に対して感謝の心を育てる。 募集対象を小学4年生から中学3年生までとし、3泊4日、霧島公民館で実施する。 参加費は1,500円。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動) 生活体験や自然体験活動を行う。主な活動は、霧島神楽の練習風景を見学、そらめん流しと救急非常食作り、星空観測、グループによる夕食買い出し。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 事業参加者</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 開催回数	回	イ 事業参加者	人	ウ	
名称	単位								
ア 開催回数	回								
イ 事業参加者	人								
ウ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動)									
20年度に同じ									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)								
霧島地区に在住する、集団生活に支障のない児童生徒(小4~中3)	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 霧島地区小学4年~中学3年の人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 霧島地区小学4年~中学3年の人数	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア 霧島地区小学4年~中学3年の人数	人								
イ									
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
きりしまふるさと学寮に参加してもらう	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア また参加したいと答えた参加者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 学寮後の日常生活において変容の見られた割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア また参加したいと答えた参加者の割合	%	イ 学寮後の日常生活において変容の見られた割合	%	ウ	
名称	単位								
ア また参加したいと答えた参加者の割合	%								
イ 学寮後の日常生活において変容の見られた割合	%								
ウ									
結果(どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)								
霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%	イ		ウ	
名称	単位								
ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		110	0	40		
		事業費計(A)	千円	0	110	0	40		
活動指標	ア 回			1	1	1			
	イ 人			23	34	32			
	ウ								
対象指標	ア 人			309	286	265			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %			100	100	100			
	イ %			57	60	60			
	ウ								
上位成果指標	ア %			90	90	90			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成14年から3年間、旧霧島町で実施。青少年育成事業の中で異年齢集団で宿泊体験(通学学舎)活動を始めた。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
対象児童生徒の要望が多様化した。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
参加児童の感想として、特に母親の家事に関する大変さが良く分かり、親に対する感謝の気持ちが多数寄せられている。

事務事業名	きりしまふるさと学寮	所属部	霧島出張所	所属課	教育振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? ふるさと学寮を実施することにより、心豊かな人間性を培い、青少年健全育成につながる。
	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 青少年育成事業を行うことは行政の役割であり妥当であり、補助金を支出することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 地域の子供達が健全に育成されるために補助するものであり、対象意図とも妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 地域に暮らす子供達は減少傾向にあり、活動としても現状維持が精一杯である。
	廃止・休止の成果への影響 <input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? ふるさと学寮は、貴重な異年齢での集団生活体験の一つであるが、他にも様々な体験活動プログラムがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 <input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似する事業がない。
効率性 評価	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 地元住民の協力により適正に活動している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 職員は補助金の申請受付及び交付、実績報告に係る事務が主であり、必要最低限の事務であることから削減の余地は無い。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 霧島地区に限定されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	ふるさと学寮は、子どもの成長に大変有意義なものではあるが、対象が霧島地区に限定されていることから、不公平感があり、今後地域単位の自主的な事業実施が必要であると考えます。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	1240-330	事務事業名	ニューライフカレッジ霧島開催事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 5	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 2	学習活動の推進				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 2	153015	生涯学習推進事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
南九州地域全般の自然・文化・歴史等を専門的な内容で地元の高等教育機関(志学館大学、独立行政法人鹿児島工業高等専門学校)と連携し、「ニューライフカレッジ霧島」として講座を開催する事業。毎年メインテーマを決定し、そのテーマに沿った講座(1回あたり2時間)を10回開催する。募集定員は、150名。受講料は参加回数に関わらず年 2000円。講座の案内は広報誌並びにポスター・ちらしの配布及び志学館大学、鹿児島工業高等専門学校のホームページに掲載等による。4月に受付開始で講座開催期間は随時受付を行う。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 12 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
メインテーマ「隼人学 - 地域遺産と産業」		ア	講座参加者数(延べ)
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	講座参加者数(実)
メインテーマ「隼人学 - 地域遺産とまちづくり- 10年の検証」		ウ	人
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民(18歳以上)の中で南九州地域全般の自然・文化・歴史等を専門的な内容に関心のある市民		名称	
		単位	
		ア	ニューライフカレッジ霧島への申込者数
		イ	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
地域のことを深く知ることができる		名称	
		単位	
		ア	地域のことを知ることができた参加者の割合
		イ	%
		ウ	講座参加者数(実人数累積)
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
自身のテーマに沿った学習機会が得られる		名称	
		単位	
		ア	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないをあげている市民の割合
		イ	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	266	252	223	276	
		一般財源	千円	81	74	76	90	
		事業費計(A)	千円	347	326	299	366	
活動指標	ア	人	924	882	773	930		
	イ	人	132	123	111	93		
	ウ							
対象指標	ア	人	132	126	113	93		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	100	100	100	100		
	イ	人	926	1,052	1,165	1,258		
	ウ							
上位成果指標	ア	%	17.9	17.5	24.6	15		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧隼人町が市民大学講座として平成元年より開設していたが、平成12年に志学館大学が生涯学習センターを設置したことをきっかけに連携して市民大学講座を開講することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
文部科学省が高等教育機関の持つ知的・人的・物的資産を地域への貢献を掲げ、平成15年から独立行政法人鹿児島工業高等専門学校も本事業に参画するようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
行政と高等教育機関が連携している事業としては全国的に評価されている事業と言われ、隼人学として地域のことをあらゆる角度から学ぶ機会を長年提供していることに関して行政・大学関係者の評価が高い。大学としては、地域の市民に大学を知っていただく機会ともなっておりありがたいという感想をいただいている。住民は、地域を再認識する機会としての継続事業としての要望がある	

事務事業名	ニューライフカレッジ霧島開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事業に参加することにより、自身のテーマに沿った学習機会が得られることに結び付く。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	誰でも気軽に学習できる機会を提供することは行政の役割である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	市民が地域のことを深く知ることができることを目的とした事業であり、対象意図とも妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	定員は150人であるが、参加者は年々減少傾向にある。広報のやり方や講座内容の見直しを行うことによって参加者を増やすことが可能である。しかし、志学館大学が平成23年に鹿児島市へ移転することが決まっており、今後の進め方を含めた検討が急務である。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	志学館大学や鹿児島高専と連携した学習の機会が失われることになる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘	大学や高専と連携した事業は他にない。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	事業費のほとんどが講師への謝金であり、これ以上の削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	市の職員は講座内容や講師の選定、募集に係る事務が主であり、運営については志学館大学、工業高等専門学校の協力により最低限の人数で対応していることから削減の余地は無い。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	参加者募集は広報きりしまを通じて広く市民に呼びかけている。また、参加者からは年間2,000円の受講料を徴収している。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	参加者は年々減少傾向にあり、広報のやり方や講座内容の見直しが必要。 また、志学館大学が移転すると現在活用している校舎や人材が活用できなくなることから、移転後の対応を早急に検討する必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	1240-340	事務事業名	まなびフェスタ開催事業			所 属 部	教育部
			所 属 課	生涯学習課			課 長 名
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり			所 属 G (係)	学習情報G
	施策名	0 5	学習機会の充実			電 話 番 号	42-1111
	基本事業名	0 2	学習活動の推進				
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	1 0	0 6	0 2	153050	まなびフェスタ開催事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
公民館等で学んだ学習成果の発表を通して、市民相互の交流を深め、より一層の学習意欲の向上を目指し、生涯学習社会の充実と明日を拓く心豊かな人づくりを基本目標に地域社会の活性化を図る。 舞台・展示発表、講演会、特色ある講座紹介、受講生代表発表		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
まなびフェスタ2009(2月28日 単人公民館他)		ア 舞台・展示発表者数	
舞台発表(34講座)・展示発表(44講座)、受講生代表(2名)発表、辛島美登里のトーク&ミニコンサート(700名参加)		人	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 開設講座数	
前年度同様(まなびフェスタ2010 2月27日 溝辺公民館・みそめ館・溝辺体育館)		回	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ 講師謝金	
市民		千円	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
学習成果の発表を通して市民相互の交流を深め、より一層の生涯学習に対する関心を高めてもらう。		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単位	
		ア 市民	
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 舞台・展示発表者数	
		人	
		イ 生涯学習に取り組むきっかけになった人の数	
		人	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 自身のテーマに沿った学習機会が得られていると考えている市民の割合	
		%	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,204	1,190	800	1,191	
		事業費計(A)	千円	1,204	1,190	800	1,191	
活動指標		ア 人	600	500	700	700		
		イ 回	1	1	1	1		
		ウ 千円	746	780	500	600		
対象指標		ア	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人	600	500	550	550		
		イ 人	未把握	未把握	未把握	未把握		
		ウ						
上位成果指標		ア %	12.7	10.1	14.8	11		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? H18年度より、霧島市として公民館講座等で学んだ学習成果発表を実施。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 公民館講座等で一年間学んだ成果を発表できる喜びに充実感がある。	

事務事業名	まなびフェスタ開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	学習発表を通じて市民の相互交流や学習意欲が向上し、結果として自身のテーマに沿った学習機会が得られる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	学習成果の発表を通して市民相互の交流を深め、生涯学習に対する関心を高めてもらうのは、市の事業として必要である。	
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	市民の相互交流及び成果発表の場であり、生涯学習に対する関心を高めてもらう目的があるので妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	学習成果の発表は、すべての公民館定期講座を受講された市民を対象に参加いただいている。会場については、市内各地区で発表会場を選定しているが各地区公民館講座により参加講座にバラツキがある。全ての講座が発表できるような体制をつくる必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	習成果の発表を通して市民相互の交流や生涯学習に対する関心を低下させる。	
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	全ての講座受講生に対し成果発表の機会を与えている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	成果発表の場を与えることで受講生が自信や学習意欲を持ち、地域社会の活性化が図れた。
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善案 <改革改善案> 全講座の受講生が学習成果の発表できる体制づくりを各講座の学級長会及び講師会等で周知する。市民一人一人が自己の学習意欲と資質の向上を図れるような学習発表の場づくりを検討していく。
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
学習成果発表を通しての市民相互交流や学習機会の重要性を認識してもらうために、講師会及び学級長会で周知する。	

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

No.	1240-350	事務事業名	家庭教育学級運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	02	学習活動の推進				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1	0	0	6	0		2

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
子どもの成長に応じて、望ましい人格の形成を図るため、親として子育てに関する資質の向上を目的に開設した。幼児や小・中学生を持つ保護者を対象とした学級を幼稚園5園、小学校34校、中学校13校に開設している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
各幼稚園、小・中学校に対し、市が学級主事を委嘱し、学級主事が学級生の募集・運営について指導・助言を行った。学級が開設され、学級長を中心として学習プログラムを組み学習会を重ねていった。		ア	委託金額
			円
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	研修会開催回数
20年度と同じ			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
各家庭教育学級		名称	
		単位	
		ア	各家庭教育学級数
			学級
		イ	各家庭教育学級人数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
親として家庭教育の重要性を認識してもらい、躰や子育ての仕方、子供との関わり方を学んでもらう。		名称	
		単位	
		ア	各学級参加者数 / 各学級の対象となる保護者数
			%
		イ	全学級参加者数 / 対象となる保護者総数
			%
		ウ	参加してよかったと感じた参加者の割合
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
子育ての資質の向上と、家庭教育の充実、子供の健全育成を図る。		名称	
		単位	
		ア	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないをあげている市民の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,150	2,111	1,779	1,993	
		事業費計(A)	千円	2,150	2,111	1,779	1,993	
活動指標		ア 円	2,150	2,111	1,779	1,976		
		イ 回				441		
		ウ						
対象指標		ア 学級	52	52	50	50		
		イ 人		2,092	1,859	1,860		
		ウ						
成果指標		ア %				19		
		イ %						
		ウ %						
上位成果指標		ア %	17.9	17.5	24.6	15		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
家庭内での子育て及び教育力が低下してきたため、文部科学省の家庭教育学級開催事業により。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
子育てに悩む親の数が増加してきているので、今後も必要と思われる	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

事務事業名	家庭教育学級運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																						
2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																											
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	保護者が家庭教育の重要性を認識し、家庭で子どもの育成に必要な知識・技能を学習する。																							
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	新たに学校に入学した児童・生徒の保護者が家庭教育の重要性を認識し、家庭で子どもの育成に必要な知識・技能を学習する機会を設けることに意義がある。																							
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	新入学児童・生徒の保護者を対象とすることが最も事業効果があがるため適切である。																							
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	新入学児童・生徒の保護者を対象とすることが最も事業効果があがるため適切である。その意見において適切に運営されている事業といえる。																							
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	新たに学校に入学した児童・生徒の保護者が家庭教育の重要性を認識し、家庭で子どもの育成に必要な知識・技能を学習する機会を設ける事業であり、類似団体はない。																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	新たに学校に入学した児童・生徒の保護者が家庭教育の重要性を認識し、家庭で子どもの育成に必要な知識・技能を学習する機会を設ける事業であり、類似団体はない。																							
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																											
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地域との結びつきがなくなっている中で、子どもを持つ親の情報交換や勉強の場として必要。子どもの教育を学校任せにするのではなく、自分で健全に育てるための知識や情報を知ってもらおう。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																							
<改革改善案> 家庭教育の重要性を認識し、家庭での子どもの育成に必要な知識・技能等、更に多くの方々の情報交換や勉強の場とする。				(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																							
				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 PR活動の充実により、家庭教育の重要性の認識を更に高めてもらう。																											

No.	1240-360	事務事業名	家庭教育支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあるまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	02	学習活動の推進				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	02	153010	家庭教育総合推進事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
地域の教育力の向上をめざし、様々な年代を対象とした学習の機会を提供する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動) 子育てやしつけ、親のあり方、孫育て・子ども達との係わり方など多方面について行政や学校・公民館と連携を図りながら、児童生徒の保護者、祖父母等が参加する学習機会を提供する		ア 実施講座数	回
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 子育てやしつけ、親のあり方、子ども達との係わり方など多方面について児童生徒の保護者が参加する学習機会を提供する	⇒	イ 参加者数(延べ)	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 児童生徒の保護者	⇒	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 児童生徒の保護者	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 家庭教育の冠する学習機会の提供をする	⇒	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 参加率	%
結果(どんな結果に結び付けるのか) 子育てに悩みや不安を持つ親に学びの大切さを広く啓発する	⇒	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないをあげている市民の割合	人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	1,418	1,297				
		一般財源	千円			281	442		
	事業費計(A)	千円	1,418	1,297	281	442			
活動指標	ア	回	111	108	31	35			
	イ	人	6,621	6,480	3,256	5,318			
	ウ								
対象指標	ア	人	12,276	12,444	12,500	12,500			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	54	52	26	43			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	17.9	17.5	24.6	15			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 文部科学省の委託事業による
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 文部科学省の委託事業は平成19年度で事業は終了したが、国県の方針では市町村の自主事業への転換を求めている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 子育てやしつけ、親のあり方学習機会の要望がある。

事務事業名	家庭教育支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2. 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 保護者を対象に子育て等の学習機会を提供することは、青少年の環境づくりに結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 青少年の健全育成の環境づくりのためには、必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 就学時を持つ保護者と思春期の子どもを持つ保護者を対象としているが、小学生の上学年を持つ保護者への子育て講座を追加することも必要である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 社会現況を捉えた講座を実施することにより参加者の増加は期待できる。予算が限られていることから、講師の選択が限られる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 青少年の健全育成の環境づくりのための保護者の学習機会が無くなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 国・県が実施しないことから、類似事業がなく現状では、他に手段がない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 文部科学省の委託事業が平成19年度で廃止となり、本市の自主事業となり、削減に努めて平成20年度は実施する。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算執行のみ正職員、実施運営には非常勤職員が対応している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内小中学生の保護者を対象とし、各学校で実施していることから公平である。

3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の委託事業から市の自主事業になり、予算も縮小された中で、市内小中学校で実施できるよう努力した。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 就学時を持つ保護者と思春期の子どもを持つ保護者を対象としているが、小学生の上学年を持つ保護者への子育て講座を実施できるような検討を図る。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																			

No.	1240-370	事務事業名	公民館短期講座開設事業	所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	生涯学習課
	施策名	05	学習機会の充実	課長名	山下 修
	基本事業名	02	学習活動の推進	所属G(係)	学習情報G
				電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	06	04	155010	公民館短期講座開設事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
市民のニーズを十分の把握した上で、ふるさとのよさを知り、発見するためのテーマを設定し、地域にあった学習活動の推進を図るために地域の特性を活かした講座を積極的に支援する。 講座の開設回数は3～8回の講座とし、受講料は1000円(実費は別) 開設期間は6月～2月 定員については、開設講座にてその都度調整する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 講座数開設数	件
チラシ(前期・後期)による募集 10講座開設(暮らしの中の法律豆知識、霧島連山を楽しもう、やってみよう!乗馬体験、魚釣りを楽しもう、霧島ばっばんのふるさと加工料理、横川お漬物とお茶請け、天降川はじめてのカヌー、おもしろ!薩摩狂句、霧島のお茶を味わう、知って安心介護体験)		イ 講座受講者数(実)	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
チラシ(前期・後期)及びホームページによる募集 10講座開設(暮らしの中の法律豆知識他、)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
市民(市内に居住する成人)		ア 市民(市内に居住する成人)	人
		イ 応募者数	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
ふるさとのよさを知り発見してもらうための学習のきっかけが得られる。		名称	単位
		ア 講座の内容に満足した受講者の割合	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
自身のテーマに沿った学習機会が得られる		名称	単位
		ア 自身のテーマに沿った学習機会が得られていると考えている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円		206	236	200	
		一般財源	千円	14	71	24	65	
		事業費計(A)	千円	14	277	260	265	
活動指標	ア 件	3	10	10	10			
	イ 人	90	205	195	200			
	ウ							
対象指標	ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ 人	90	205	339	300			
	ウ							
成果指標	ア %	未把握	未把握	82	83			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %	12.7	10.1	14.8	11			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 定期講座の申込みにおいて地域間に格差がある。格差是正のためにふるさとのよさを知り、発見してもらう地域の特性を活かした魅力ある講座の導入を図る。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? ふるさとのよさを再発見し、地域間の交流ができれば良いとの意見が寄せられている。

事務事業名	公民館短期講座開設事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																		
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																							
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																					
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	市民がふるさとのよさを知りたい学習を取り入れることにより、自身のテーマに沿った学習機会が得られるに結びついている。																					
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																					
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市民が学習のきっかけが得られるように学習の場を提供することは、市の事業として必要である。																						
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																						
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	公民館の役割として、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、住民の教養の向上、健康増進など生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する目的をもっており妥当である。																						
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																					
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	講座内容への満足度に関しては、20年度実施講座すべてにアンケートを取り、受講生のニーズを把握している。結果として満足している市民の割合が多い。ただ、講座に対する要望や意見もあるため、今後、講座内容や人材について検討していく。																					
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																					
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市民交流や学習機会が減少し、市民の学習意欲の低下につながる。																					
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																						
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	公民館講座で他にない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																						
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																					
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費の大半が講師謝金である。類似講座の調整と自主講座等で知識・技術を深め、人材育成した市内講師の活用をする。																					
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																						
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	担当職員で対応している。																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																					
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	市内全域で受講できる体制をとっているため受益機会は公平・公正である。受益者負担額は、全講座共通の受講料に加え、講座内容によって異なる実費負担となっており、公平性は保たれている。																					
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																							
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民のニーズを的確に捉えながらふるさとのよさを発見する講座のねらいを明確にする。講座の内容や手段を工夫し、効率性の確保と共に効果の向上を検討する。																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																			
<改革改善案> ふるさとのよさを発見する講座の開設をするために、人材の発掘や地域に眠っている資源の活用など、地域のよさを肌で感じ、ふれあい、地域に根ざした学習環境等を整え、市民一人一人が気軽に公民館講座を利用いただけるような方策を検討していく。				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持					低下				
成果	向上	コスト																					
		削減	維持	増加																			
維持																							
低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民のニーズを常に把握するために、アンケート調査を実施する。また、事業改善計画等を作成し、公民館関係職員研修会で検討する。																							

No.	1240-380	事務事業名	公民館定期講座開設事業	所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	生涯学習課
	施策名	05	学習機会の充実	課長名	山下 修
	基本事業名	02	学習活動の推進	所属G(係)	学習情報G
				電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	
	一般	1	0	0	6	0	4	155010 公民館定期講座開設事業

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
本市における生涯学習の推進のため、市内7地区拠点公民館を中心に定期講座を開設することにより、いつでもどこでもだれでも気軽に受講でき、新しい自分を発見するきっかけづくりを積極的に支援する。 定期講座とは、開催日を事前に決めて定期的に実施している講座。市内全域で5月～2月の間に概ね毎月1、2回程度の学習を行っている。講座内容の企画は地区拠点公民館毎に行なっており、市民はどこの公民館の講座であっても参加可能。(同じ講座の受講は最高2年まで) 受講料は講座回数により 10回未満の講座は1000円(実費は別) 10回超の講座は2000円(実費は別) としている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	市内全域で149講座を開設 募集チラシ(全戸配布)、ホームページにより広報	ア 講座開設数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	市内全域で127講座を開設 募集チラシ(全戸配布)	イ 講座受講者数(実)	人
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民(市内に居住及び勤務する成人)	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	学習のきっかけが得られる	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	自身のテーマに沿った学習機会が得られる	名称	単位
		ア 市内に居住及び勤務する成人の数	人
		イ 応募者数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 講座の内容に満足した受講者の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学習活動を行わない理由として自身のテーマに沿った学習機会がないことをあげている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	3,400	3,691	3,624	3,150	
		一般財源	千円	9,266	7,625	9,316	7,355	
	事業費計(A)	千円	12,666	11,316	12,940	10,505		
活動指標	ア 件		172	157	149	127		
	イ 人		3,971	4,029	3,893	3,500		
	ウ							
対象指標	ア 人		未把握	未把握	未把握	未把握		
	イ 人		4,748	4,933	5,145	4,700		
	ウ							
成果指標	ア %		未把握	未把握	未把握	未把握		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		12.7	10.1	14.8	11		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併を機に、H18年度より、市民の学習機会の充実をはかるため、市内全域を対象として公民館定期講座を開設。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
従来からの志学館大学、第一工業大学に加え、鹿児島工専(H16年～)において公開講座が開催されるようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市内全域を対象に募集し、受講できることで選択肢が増え、多くの講座受講と地域を越えた交流ができて良いとの意見が寄せられている。	

事務事業名	公民館定期講座開設事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																					
2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 公民館定期講座を開設することにより、幅広い学習のきっかけが得られ、結果として自身のテーマに沿った学習機会が得られるに結びついている。																						
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民が学習のきっかけが得られるように学習の場を提供することは、市の事業として必要である。																						
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 公民館の役割として、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、住民の教養の向上、健康増進など生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する目的をもっており妥当である。																						
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 講座内容への満足度に関しては、19年度よりアンケートによる把握を開始したが、講座によってバラツキがある状況にあると思われる。講座の内容や講師によってその差が生じている可能性が高い。多種多様な学習機会の提供による市民の学習活動の活発化																						
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市民交流や学習機会の減少し、市民の学習意欲の低下につながる																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費のうち4分の3程度を講師への謝礼が占める。類似講座の調整と自主講座等で知識・技術を深め、人材育成した市内講師の活用																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 地区公民館によっては、公民館主事(職員)以外、委託職員で対応しているケースがあるので、委託・臨時職員での対応も視野に入れたい。																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市内全域でどこでもだれでも受講できる体制をとっているため受益機会は公平・公正である。受益者負担額は、全講座共通の受講料に加え、講座内容によって異なる実費負担となっており、公平性は保たれている。																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市民のニーズを的確に捉えながら社会情勢を考慮し、講座のねらいを明確にする。講座の内容や手段を工夫し、効率性の確保と共に効果の向上を検討する。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民のニーズは常に変化するためニーズを把握することが課題である。そのためのアンケートの実施を始めている。事業改善計画等を作成し、公民館関係職員研修会で検討する予定。																										

No.	1240-390	事務事業名	高齢者学級運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあるまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 5	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 2	学習活動の推進				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 2	153020	各種学級運営費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
高齢者がいきいきと生活し、地域や社会の一員として自覚できるような学習を実施している。募集対象としては、65才以上の市民としている。舞鶴大学・大学院のみ市内全域より募集し、高齢者教室、シニア大学、高齢者大学、高齢者教室を各地区で実施する。各講座の実施回数は、国分地区10回・隼人地区9回、福山地区7回、横川地区11回である。定員は定めてない。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 41 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動) 舞鶴大学・大学院(842人)、高齢者教室(以上国分地区)、シニア大学、若水教室(以上隼人地区) 高 齢者大学(福山地区)、高齢者学級(横川地区)		単位	
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		人	
舞鶴大学・舞鶴大学院(国分地区)・シニア大学(隼人地区)・高齢者大学(福山地区)・高齢者学級(横川・溝辺・牧園)		人	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
65才以上の市民		名称	
		単位	
		人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
積極的な学習ができる		名称	
		単位	
		%	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
65才以上の市民対象者が自身のテーマに沿った学習機会が得られる		名称	
		単位	
		%	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	460	942	519	677	
		一般財源	千円		1,464	908	1,374	
	事業費計(A)	千円	460	2,406	1,427	2,051		
活動指標		人	14,927	14,519	9,224	18,860		
対象指標		人	27,487	27,831	27,977	27,977		
成果指標		%	8	8	8	8		
上位成果指標		%	12.7	10.1	14.8	11.0		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年度文部科学省の社会参加促進事業により高齢者がいきいきと生活していく学びの機会の提供を積極的にするようになった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
高齢者がいきいきと社会の一員として活躍している	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
高齢者から常に地域社会の一員として活躍できる学びの場を得られると好評を得て、継続の希望が多い。	

事務事業名	高齢者学級運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 高齢者がいきいきと生活し、地域や社会の一員として自覚できるような学習を場を実施することは、高齢者が自身のテーマに沿った学習機会を得る機会に結びつく。高齢者が積極的な社会参加をできるような講座を開設することにより受講生がいきいきと生活できることに繋がる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 高齢者より、いきいきと生活し、地域や社会の一員として積極的に参加できる学習を場を実施する必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対照、意図とも妥当である
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 高齢者が地域社会の一員として活躍できる学びの場の拡大(広域化)により受講生の増加が見込まれる。学びの場(会場)への公共交通機関の整備が必要である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 高齢者の学習意欲の喪失と社会参加への低下
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 高齢者を対象とする類似する事業が他に無い <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 受講料を有料(現在一部有料)とすることで事業費の削減も可能性はある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 現状も社会教育指導員(非正規職員)が主たる業務としている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 参加者の定員を定めておらず、募集範囲も市内全域としていることから公平・公正と考えられるが、高齢者が地域社会の一員として活躍できる学びの場の拡大(広域化)により受講生の増加が見込まれる。学びの場(会場)への公共交通機関の整備が必要である。により、公平・公正が図られる。また、未実施地区(溝辺・牧園・霧島)があるが、次年度以降順次実施していく。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢者の地域や社会参加への更なる積極的な参加ができる学びをテーマに沿って計画する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 高齢者がいきいきと積極的な社会参加ができるような講座を開設する。市内全域の高齢者が受講できる環境をつくる。(講座の分散型開催)																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 高齢者が地域社会の一員として活躍できる学びの場の拡大(広域化)することにより、学びの場(会場)への公共交通機関の整備が必要である。環境を整備するために、関係各課へ要望する。
--

No.	1240-400	事務事業名	社会教育指導員配置事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	02	学習活動の推進				電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	1	0	0	6	0	1	152090	その他社会教育総務費

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
社会教育の特定分野についての指導・助言や運営と、社会教育関係団体(市PTA連絡協議会、各種女性団体連絡協議会等)への育成をするために、社会教育指導員を置く。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	社会教育指導員の設置	ア 社会教育指導員の数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	社会教育指導員の設置	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・65才以上の成人者・市内在住の成人女性・市内児童生徒の保護者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・高齢者がいきいきと生活できるよう学びの機会の提供と交流の場の提供する ・女性がいきいきと生活できるよう学びの機会を提供する ・家庭での子どもの育成に必要な現代社会に沿った学習機会の提供をする	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	・高齢者が学習を受けることにより、生きがいとやりがいを見つける。 ・女性の地位の向上と社会活動の場が広がる 子育てに関する現代社会を取り巻く状況をとらえ、対処等を学び子育てに活かす。	名称	単位
		ア 65才以上の成人者	人
		イ 市内在住の成人女性	人
		ウ 市内児童生徒の保護者	人
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 舞鶴大学・大学院・高齢者教室(延べ)	人
		イ 女性学級(延べ)	人
		ウ 家庭教育学級(延べ)	人
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学習活動を行わない理由として自身のテーマに沿った学習機会がないことをあげている市民の割合	%
		イ 学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないをあげている市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	18,605	18,850	16,746	15,708		
		事業費計(A)	千円	18,605	18,850	16,746	15,708		
活動指標		ア 人	11	11	10	10			
対象指標		ア 人	27,487	27,831	27,977	28,000			
		イ 人	52,523	52,885	53,018	53,000			
		ウ 人	13,758	14,305	未把握				
成果指標		ア 人	14927	14519	5,068	5,900			
		イ 人	1,630	1,050	630	630			
		ウ 人	6,621	6,480	3,256	5,318			
上位成果指標		ア %	12.7	10.1	14.8	11			
		イ %	17.9	17.5	24.6	15			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
開催時期は不明であるが、社会教育の特定分野についての指導、学習相談、社会教育関係団体の育成に努めるために設置する。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成20年1月から隼人庁舎移転に伴い、国分、隼人地区の指導員が6名となった。平成20年度からは、所管業務の見直しをしたことにより、1名減の11名となる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	社会教育指導員配置事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 豊富な経験を有する社会教育指導員に直接指導、学習同断、団体育成等に当たってもらうことにより、市の社会教育の振興が図れる
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 家庭教育学級、高齢者講座、女性講座、人権学習等の事業の推進に必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 国分、隼人地区の管轄が本庁となったことから社会教育指導員の配置を一人削減する。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 10名の指導員で、家庭教育学級、高齢者講座、女性講座、人権学習、社会教育関係団体等の事業に適切であり、向上の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 10名の指導員で、家庭教育学級、高齢者講座、女性講座、人権学習、社会教育関係団体等の事業の推進に必要であり、継続すべきである。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 豊富な経験を有する社会教育指導員に直接指導、学習同断、団体育成等に当たってもらうことにより、市の社会教育の振興が図れる。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 非常勤職員の報酬である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 非常勤職員の報酬である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 関係する業務が市民を対象とする事業であることから公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成20年度に見直しを行い1名削減した。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲	▲	▲																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 本庁・各出張所(5地区)の業務を展開している現状では、維持することが必要である。

No.	1240-410	事務事業名	女性学級運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあるまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	05	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	02	学習活動の推進				電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	06	02	153020	各種学級運営費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
女性がいいきと生活し、地域や社会の一員として自覚できるような学習の機会を提供する。 6月: 買い物心理を探る 7月: 南九州太古のロマン 8月: おしゃれのインテリア 9月: 野菜ソムリエって! 10月: 篤姫ゆかりの地を訪ねて 11月: 「篤姫」の人生 12月: 生きた言葉で会話美人に! 1月: 霧島の自然について 各講座とも専門家を講師に招き90分程度の学習を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同じ	ア 講座参加者数(実人数)	人
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	事務事業の概要と同じ	イ 講座参加者数(延べ人数)	人
		ウ 講座回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	成人女性	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 成人女性	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成人女性に学習の機会を与える。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 社会参加するための学習を受けられた女性の人数	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	自身のテーマに沿った学習機会が得られる	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学習活動を行わない理由として自身のテーマに沿った学習機会がないことをあげている市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			54	70		
		一般財源	千円	376	325	157	141		
	事業費計(A)	千円	376	325	211	211			
活動指標	ア 人		113	105	79	70			
	イ 人		791	735	420	490			
	ウ 回		10	10	8	7			
対象指標	ア 人		52,523	52,885	53,018	53,018			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 人		98	95	72	68			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %		12.7	10.1	14.8	11.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 文部科学省が女性の社会参加推進事業として平成10年頃開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 女性が社会への積極的参加が進んできた。男女の役割に関する固定観念は年代により差が見られ、若い世代の方が平等意識は高い傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 年間をとおしてバラエティーに富んだ講義内容で、楽しく有意義に受講できた。日頃は聞けないような講師の方の話を聞けて、得した気分になった。などの意見が聞かれた。	

事務事業名	女性学級運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	女性学級を開催することで自身のテーマに沿った学習機会が得られることにつながる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	誰でも気軽に学習できる機会を提供することは行政の役割である。
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	女性の社会参加推進事業として文科省が始めて10年ほど経つが、女性の社会参加の目的は達成しつつあるため、今後は男性も対象に加える検討が必要である。
成果の向上 余地	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成人女性の学習志向をリサーチすることで、参加者を増やす。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
類似事業との 統廃合・連携の 可能性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	平日の昼間に時間を取れない女性が学習の場を失う。
	類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	趣味講座ではなく、女性の自己実現を目指す学習講座は他にない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	予算のほぼ8割を講師謝金で占めているので、これ以上の削減は、質の低下をまねく。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	土曜日の午前中に開催しているが、担当職員は振替休日により対応している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加者募集は広報きりしまで呼びかけており、参加者からは年間1,000円の受講料を徴収しており、公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学習内容を精選し、参加者を増やす努力が必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	1240-420	事務事業名	地区自治公民館講座等開設支援事業			所 属 部	教育部
			所 属 課	生涯学習課		課 長 名	山下 修
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあつまちづくり			所 属 G (係)	学習情報G
	施策名	0 5	学習機会の充実			電 話 番 号	42-1111
	基本事業名	0 2	学習活動の推進				

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	1 0	0 6	0 4	155010	公民館定期講座開設事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
地区自治公民館における自主的学習活動を奨励し、定着・活性化を図るために講座開設に要する講師謝金の一部を補助する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 補助金申請した自治公民館の数	館
3地区自治公民館(牧園地区リフォーム講座、中津川地区 着物リフォーム講座・太極拳講座)		イ 補助金	円
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		ウ	
5地区自治公民館を予定		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
自治公民館		ア 自治公民館数	館
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
自治公民館の自主的な活動の奨励と地域の活性化		名称	単位
		ア 自主的な活動が行われている自治公民館の数	館
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
自身のテーマに沿った学習機会が得られる		名称	単位
		ア 自身のテーマに沿った学習機会が得られていると考えている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	27	270	243	135		
	事業費計(A)	千円	27	270	243	135			
活動指標	ア 館		1	7	3	5			
	イ 円		27	189	81	135			
	ウ								
対象指標	ア 館		90	90	90	90			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 館		未把握	未把握	未把握	未把握			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %		12.7	10.1	14.8	11			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 旧国分市にて自治公民館活動を活性化させるために平成8年度より事業を導入、合併を機に市内全域を対象とする。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 国分地区から霧島市全域を対象した事業に広がっている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 補助金は講座を開設する上で、講師謝金に充当できるので助かっている。

事務事業名	地区自治公民館講座等開設支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																
2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	地区自治公民館における自主的学習活動を支援することで活性化を図る。																	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	地区自治公民館における自主的学習活動を支援することで地区民の学習環境をつくることできる。																	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	地区自治公民館を対象としている。																	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何の原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	旧国分地区で導入された事業を、霧島市としてあらたに導入した事業であるため、他地区自治公民館に啓発し、広く普及させることで学習環境を整えていく。																	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	地区自治公民館における自主的学習活動が衰退する。																	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	地区自治公民館の事業であり、他に手段がない。																	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	地区自治公民館の申請によるため																	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市内全ての地区自治公民館が対象である。																	
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]																					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市内全ての地区自治公民館を対象としているが、旧国分地区以外の啓発が必要である。自主的学習活動を継続させるために、講座や講師の紹介など教育委員会の指導・助言も必要である。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					
<改革改善案> 地区自治公民館の身近な社会教育活動の一役を担う役割を持っているので継続する必要がある。																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 社会教育活動の手立てとして、継続させる。																					

No.	1240-430	事務事業名	成人式開催事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進				所属G(係)	生涯学習グループ
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 1	152090	その他社会教育総務費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
新成人が一堂に集い、社会の形成者になったことを自覚し、自らの力で激動する時代にたくましく、より強く生き抜くことを誓い、そして、市民一同で新成人の前途を祝し、激励する		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
成人式典の開催		ア	式典参加者数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
平成20年度に同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
新成人者(市外対象者も含む)		名称	
		単位	
		ア	新成人者数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
式典に参加してもらい祝福する		名称	
		単位	
		ア	参加者の割合
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
成人としての自覚を持たせる		名称	
		単位	
		ア	まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内財源	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,193	1,735	1,489	2,214	
		事業費計(A)	千円	2,193	1,735	1,489	2,214	
活動指標		ア	人	1,209	1,356	1,315	1,300	
		イ						
		ウ						
対象指標		ア	人	1,912	1,957	1,976	1,950	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	%	63	69	66	67	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	56.4	47.3	59.2	64	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国民的な行事で、多くの自治体で実施されている	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
成人式の出席者のマナー、大人としての自覚が全国的に問題となってきた。本市においては問題は起きていない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
合併後も各地区で実施して欲しい旨の要望がある一方、新市として一箇所開催を望む声もある。	

事務事業名	成人式開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	新成人者を社会人としてスタートする節目に、次世代の担い手として今後の活躍を期待し祝福する。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	多くの若者が成人式を人生の節目として考えており、大切な儀式である。				
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷			
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	新成人の祝福に限定されている。				
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	魅力ある式典とすることで、多くの参加が得られる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	成人式を人生の節目と考えている若者やその両親、及び霧島市民の新成人を祝う思いに影響がある。				
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業)				
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷	
新成人を祝福する儀式である。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	予算内で全対象者への郵送料、記念品代、プログラム印刷製本費等を賄っており、削減の余地は無い。			
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	式典をスムーズかつ安全に挙げるためには必要な人数である。				
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	成人式式典に受益者負担は考えていない。				

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、総合支所の組織機構の変更等により、運営方法の検討が必要。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 改革改善案 < 合併前の旧市町毎に実施しているものを一括開催とすれば、効率化が図られる。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 一括開催とする場合、成人式参加者の利便性向上を図ること、会場の収容人員を増やすことが必要である。

No.	1240-460	事務事業名	ボランティアセンター運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進				所属G(係)	学習情報G
	基本事業名	0 2	まちづくりに参加しやすい仕組みづくり				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 1	152020	ボランティアセンター運営事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市民にボランティア活動に関する理解と関心を深めるためボランティアセンターを開設する。ボランティアセンターにコーディネーターを配置し、人材登録や活動希望の人、またボランティアの受け入れを希望する団体等の相談や紹介などの業務を実施する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動) 人材登録(35団体 1,230人)、活動依頼(114件、延べ443人) ボランティア研修会 年2回、養成講座 年2回 ボラセンたより 年2回発行		ア:人材登録(個人・団体)	人
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度同様(但し、社会福祉協議会と連携を図る)	⇒	イ:活動依頼	件
ウ			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⇒	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア:ボランティア参加者数	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ボランティア活動を通じてのまちづくりへの積極的な参加	⇒	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア:ボランティアにかかわった市民	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) ・まちづくりや地域活動がやりやすくなる。 ・地域住民相互の交流・連携ができる。	⇒	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア:まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	団体
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,154	1,718	1,595	1,746		
	事業費計(A)	千円	3,154	1,718	1,595	1,746			
活動指標	ア	人	1,230	1,366	1,382	1,400			
	イ	件	114	104	66	120			
	ウ								
対象指標	ア	人	443	487	342	600			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	443	487	342	600			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	団体	1,197	1,213	1,178	1,220			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 文科省の補助事業(H15年より3ヵ年)により合併前の旧市町により実施。霧島市においては、H18年度より市単独事業として取組む。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市民のボランティアに対する意識は、日々高まりを見せている。市においてもボランティア団体及びNPO団体等多数の活動団体が設立している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 活動を依頼している団体からは助かりましたなどお礼状が、ボランティアを活動した方からは楽しかった、充実感があるなど意見が寄せられている。	

事務事業名	ボランティアセンター運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 社会福祉協議会のボランティアセンター(福祉分野のみ)と連携し、活動の範囲を広げることにより、市民運動の展開を図る。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学習の成果を活かし、深める実践の場としてボランティア活動をしたい人がボランティアセンターに登録している。登録者も年々増え、ボランティアに対する関心が深まっている。ボランティア活動依頼に偏りがあり、特定の登録者に依頼が集中する傾向が見られるので登録者全般に活動できるような手法が必要である。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ボランティアセンターの啓発や登録者が全般的に活動できる場の提供及び登録者同士の交流を深めさせる。また、社会福祉協議会との連携を密にし、市民のボランティアニーズに対応できる組織体制を確立させ、市民運動の一役として推進する。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																	

No.	1240-490	事務事業名	人権教育総合推進事業	所 属 部	教育部
				所 属 課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	課 長 名	山下 修
	施策名	0 3	人権の尊重	所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	人権尊重社会の実現に向けた学習, 教育の推進及び広報・啓発	電 話 番 号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令		
	一般	1	0	0	6	0	2	153040	人権教育総合推進事業

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
同和問題をはじめとする人権問題に対する住民意識の向上を図る。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
子ども人権セミナー, 人権セミナーさりしま 等各種研修会の開催		ア	研修会
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	研修会への参加者数
20年度に同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
児童・生徒, 市民		名称	
		単位	
		ア	市内児童・生徒数
		イ	市民
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
人権に対する意識を高める		名称	
		単位	
		ア	人権に対する理解度
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
人権について知ることができる		名称	
		単位	
		ア	人権に関わる教育・学習に参加した市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,203,499	697,364	1,102	1,097		
		事業費計(A)	千円	1,203,499	697,364	1,102	1,097		
活動指標	ア	回	13	31	30	30			
	イ	人	2,711	3,768	3,500	3,500			
	ウ								
対象指標	ア	人	12,276	12,223	12,136	12,100			
	イ	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	ウ								
成果指標	ア	%	未把握	未把握	未把握	未把握			
	イ				H20からアンケート実施				
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	10.5	8.6	12			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧集人町において、平成13年度より人権教育指導員を配置。この指導員を合併後も引き継ぎ、あらゆる差別のない町づくりを目指して人権教育の充実を図っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
研修会等への参加者は徐々にではあるが増えてきている。ただ、社会のなかでの差別事象は皆無とはいえない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
あらゆる差別をなくす人権教育の充実を期待されている。	

事務事業名	人権教育総合推進事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	それぞれのライフステージに応じた研修の機会を提供している。様々な機会を通じて人権尊重の町づくりに寄与しており、今後も継続していく事業と考える。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> コスト増加による研修会の質の向上																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・市内全域での開催 ・指導者の育成 ・各種機関との連携